Maebashi Biennale 2026 ／ 地域協働プログラム

ARKHENODE

移動式公開編集会議「アルケノード」

2026.07.04 sat



非売品
立読専用

第三回簡易記録

学生の頃から まちなかに関わる ふたり

二〇二六年七月四日、土曜日。アルケノード第三回目の開催。気温は三十度近く。

午後三時、本屋水紋に集まった参加者で、機材を積んだ屋台を引いて前橋まちなかを歩いた。最後にたどり着いた弁天通りの「Bentena SHOP」で、二人のゲストの話を聞いた。

ゲストは、クラフトビールブルワリー「ルルルなビール」の竹内躍人さん、そして建築デザイナーの岡田友大さん。テーマは「学生の頃からまちなかに関わるふたり」。



ARKHENODE とは

ARKHENODE — 前橋国際芸術祭2026の地域協働プログラムのひとつ。まちで活動するひと・店をゲストに、屋台を引いて街を歩き、そのあと公開取材の形でトークを開催。
半年分の記録は、来春に一冊のZINEに仕立て上げる。



まち歩き

ACT 01 — ARKHĒ

arkhē — 始まり・根源



本屋水紋から屋台を引いて出発。前回とは打って変わって夏の日差し。塩分タブレットと水分を補給し、ラジオ体操で身体をほぐしてから出発。これまでのアルケノードで通過していない南エリアを経由し、ゴールのBentena SHOPを目指す。



国道五十号沿いに、四月にオープンしたばかりのナチュラルワインの店 BIANCARA NORD。まち歩きの直前に偶然会っていた店主・小平尚典さんに挨拶して、屋台を止めてお店の紹介をしてもらった。「気軽に、一杯だけでも寄ってください」





続いて坂を下り、ゲスト・竹内躍人さんの店「ルルルなビール」に到着。一階が醸造所とテラス席、二階がビアスタンド。もともとは家具屋の倉庫だった建物をリノベーションした店だ。飲みたい人はここで一杯もらいながら、しばらく休憩。



ちょうどこの日から「ぬけみち展」の会期がスタートしたアーツ前橋の前に一旦着地。集合写真を撮影。

その後歓楽街エリアを抜けて、岡田さんが設計している物件の前で足を止める。前橋の詩人・新井隆人さんの依頼で、古書店＋喫茶「マルベリー書房」に改装中。「前のお店の名残とか、活かせるところは活かしたい」と岡田さん。

オリオン通りの双子蒸留所も見学し、七夕祭りの飾りが出始めた弁天通りを進んで、Bentena SHOPに到着した。







ACT 02 — NODE

公開取材

node — つながり・節

GUEST 01

竹内躍人

ルルルなビール



▼下北のシティボーイ

出身は青森県むつ市、平成元年生まれ。生まれ育った大湊は「下北半島」の付け根、日本に五つある海軍の町（佐世保、舞鶴、呉、横須賀、大湊）のひとつ。恐山や大湊駅（本州最北端の駅）が徒歩十五分にあるシティボーイ。

大学入学で群馬へ。学生時代はユニクロと、深夜のローソンで働いた。ローソンを選んだのは「大好きだったエヴァのキャンペーン情報をいち早く知りたかったから」。

高崎の街でＤＪユニットをやっている友人たちが街の人と挨拶しているのを見て、「街の人」になることに憧れを抱くようになる。

▼まえばしCITYエフエム、前橋〇〇部

二〇一三年頃、まえばしCITYエフエム（元気２１の一階のラジオ局）に入社。「ヤクト」として、群馬ヤクルト協賛の七夕特番などを担当。五年弱働いた。

同時期に盛り上がっていたのが「前橋〇〇部」。前橋パフェ部、前橋福島部、そして自分が発案した「前橋シャッタークエスト」など、まだ街に店がなかった時期の前橋に多くの企画を投下した。

▼コピーライターとして独立、そしてビール醸造へ

朝日ぐんまに半年ほど関わったあと、二〇一七年五月、コピーライターとして独立。屋号は「ONOBORI3」。

その後、にんにくで有名な町・青森県田子町のホップ農家との出会いから、ビール醸造の道へ。「誰にビール醸造の話を聞いても『やらないほうがいい』と言われた」。それでも伊勢の醸造所や、東京都内で修行を積み、コロナ期間を挟みながら、ルルルなビールをオープンした。

▼地元・青森へのアクション

去年八月から、地元・大湊で「OH! みんなとビアネブタ」を始めた。ビジュアルは同じ青森・八戸出身のデザイナーに依頼。「前橋で得た繋がりやパワーを、地元に注入しだしてる感じ」。

GUEST 02

岡田友大

tos／MaebashiWorks／Bentena SHOP



▼足利市から、群馬へ

出身は栃木県足利市、平成三年生まれ。前橋工科大学の建築学科に進学。竹内さんと始めて出会ったのは、大学四年の夏、駅前通りの大学のスペースにて。

大学を卒業し、まちなかのシェアハウスに一期生として住み始める。竹内さんの前橋〇〇部時代の企画（とりあえず金曜ビアテラスなど）にも、学生の立場で参加した。「シェアハウスに住むと街のボランティア活動で家賃補助が出る制度があって、学生が街に出るきっかけになっていた」。



▼手を動かすということ

大学卒業後、高崎と東京に拠点をもつ建築設計事務所「ＳＮＡＲＫ」で働く。積極的に行う事務所で、設計するだけでなく実際に手を動かして作ることを学んだ。

本屋「Rebel Books」の荻原貴男さんとは、店の本棚をＤＩＹで製作した。

「一緒に作ったから、荻原さんはもう自分で本棚を作れる。めっちゃいいですよね」



▼マエバシワークス、ベンテナショップ、続く拠点

独立して自分の設計事務所「tos」を運営しながら、街の中で拠点を持つ活動を続けてきた。十年ほど続けているのが、中央通りの「MaebashiWorks」というアートスペース。全部内装を自分たちでリノベーションして、一階がギャラリー、二階がアトリエ、三階がレジデンス。

Bentena SHOPは長く継続できるよう、収入源のある構造にしてある。今は複数のメンバーで共同運営、店番として週に何度か立っている。「トントンならいい、くらいの気持ちで。みんなが集まって、きっかけになる場所を残したい」。

Bentena SHOPも、MaebashiWorksも、今回の芸術祭のプログラムの中で会場として使われることになっている。



Q　もし休憩できる時間ができたら、
まちなかでどう過ごしたい？

岡田　コーヒーが好きなんですけど、夜に行けるコーヒー屋がなかなかないんですよね。「コーヒーもある居酒屋」じゃなくて、「夜もやっていて、酒もあるコーヒー屋」が欲しいですね。

竹内　街のおじいさん・おばあさんがやっているような店がすごく好きで、よく行ってました。パスタの「麦亭」、「伊勢屋食堂」とか。でも、どんどんなくなっていく。継ぐ人もいない。自分がやってもあのときと同じ空気にはできないですし、どうしたらいいんだろう、と、いつも思ってます。

とりあえず今は、麦亭と伊勢屋食堂のテーブルセットを譲ってもらって、ルルルなビールに置いて、キャプションを貼っている。**店がなくなるのも悲しいけど、「誰も覚えてない」ってのがもっと悲しい**ので。

田中（アルケノード）　つい最近、店主が亡くなった「最後の５０セント」も、そうですね。何かできないかなって思うんですけど。

岡田　新しい建物がどんどん綺麗になっていくけど、キラキラだけじゃ楽しくないんですよね。



Q　成熟してきた前橋。これからどうなっていきそう？

岡田　メディアに取り上げられるような動きもあれば、そうじゃないところで面白い表現をしている人たちもたくさんいる。**両方がある、というのが前橋の特徴だと思います。そういう二面性のある町って珍しいし、それぞれで自由に楽しめる。**このアルケノードというプロジェクトも、前橋のプレイヤーと県外の方々の両方の人選があり、「分かってるな〜」という感じがしました。

竹内　ちょうど昨日、ずっと店に通ってくれていた常連さんが転勤で去るのを見送ったところなんですけど。その人が言い残していった言葉が、「人が集まることが活力なんだよ」。改めて、あ、そうだよな、と思ったんですよね。人として生きている以上、人だよなって。ルルルなビールをやっているのは、ビールを広めたいというより、人のエネルギーを注入するため。**人と人が集まってエネルギーを生む、っていう連鎖しかない。**そのためにルルルをやっていると言ってもいいですね。




2026
7.4 [Sat] -
8.30 [Sun]



前橋国際芸術祭2026 - 地域協働プログラム
ARKHENODE
2026.07.04（土）第3回 簡易記録
制作：市根井直規
ツール：https://studio.zine-ken.jp

ゲスト
竹内躍人（ルルルなビール）
岡田友大（tos／MaebashiWorks／Bentena SHOP）

アルケノード編集委員会

企画　田中隆太（マチスタント）
デザイン　寺澤由樹
編集　市根井直規（まちのわーくす）

Instagram：@arkhenode

アルケノード Season 1

まちを耕す地元のひと・店と。

6/13（土）　第1回　まちの端、川沿い、音楽
Guest：近藤康裕（グルマンカレー）、MEG（MEGREM studio）

6/20（土）第2回　建築家と飲食店、それぞれが見るまちなか
Guest：木暮勇斗・新井裕作（AANE/IINE）、玉橋南実（Hazumi）

7/4（土）第3回　学生の頃からまちなかに関わるふたり
Guest：竹内躍人（ルルルなビール）、岡田友大（Maebashi Works）

7/18（土）第4回　裏弁天の逆襲
Guest：金山慎太郎・金山杏菜（hengeni）、野口泰平（CASA FRESCO）

2026年6月～7月開催　全4回
時間　15:00～18:30

Instagram @arkhenode